



峰だより

156号

発行
峰地区
まちづくり推進協議会
編集
峰だより編集委員会
(年3回発行)



避難所開設訓練

峰地区防災会
峰地区まちづくり推進協議会

6月19日(土)

峰小体育館

新型コロナウイルス禍のため延期となっていた、避難所開設訓練を峰小体育館で行いました。

参加者55名規模で、感染防止対策を徹底し、市役所危機管理課の指導を受けながら、短時間での実施としました。

実際の災害時にご協力を願う近隣自治会の方々にお集まりいただき、受付・レイアウト班・掲示物班・支援物資確認班に分かれて作業を進めました。

訓練の中で、改善点や見直しが必要な事柄が明らかになり、これを踏まえて今後の防災計画に反映させてまいります。

多方面からご協力いただいたことに感謝いたします。
(まちづくり推進協議会)

会長 塩竈修一

目次

1頁 避難所開設訓練
2頁 峰地区各団体役員一覧

3頁 新会長紹介 これからのまちづくり
4頁 年間行事予定 高齢社会に暮らす^②

令和3・4年度

峰地区各団体役員一覧

副会長 杉田 貞夫

峰だより編集委員会

まちづくり推進協議会

東峰自治会

野口 勝一

副会長

阿久津庄三

委員長 笠原 英子

会長 塩竈 修一

会長 高橋 博

宇都宮東交通安全協会峰支部

副会長

中田 道雄

副委員長 木村真理子

副会長 池崎 隆

副会長 樋口 康成

支部長 渡辺 文善

副会長

宇賀神 透

地域包括支援センター

副会長 水上 淳

向原自治会

副支部長 大根田 匡

副会長

亀田加代子

峰・泉が丘

副会長 六本木光夫

会長 国谷 善一

副支部長 塩竈 修一

副会長

水上 淳

センター長 三浦 敬子

副会長 鈴木 孝司

副会長 押久保 稔

シルバー部会支部長

副会長

渡邊美津子

倉詩舎

連合自治会

峰向原自治会

交通安全推進協議会

副会長

萩原 弘美

理事長 綱川 ミツ

副会長 池崎 隆

会長 六本木光夫

会長 平松 明夫

副会長

高木 大治

代表

金枝 右子

副会長 堀江 武充

副会長 片庭 修

副会長 池田 孝

副会長

手塚 泉

副代表

堀江 佳以

峰第一自治会

平松町自治会

副会長 中田 道雄

峰小学校

校長 高野 孝夫

商店会

会長 岡田 俊光

会長 代田 正雄

会長 齋藤 靖治

会長 齋藤 靖治

副校長

山田 典子

副会長

佐藤 克彦

副会長 鈴木 信宏

副会長 日下部 進

副会長 堀江 武充

副会長

大根田亜紀子

副会長

池田 映孝

副会長 小関 直

宇都宮大学南自治会

副会長 伴 崇夫

副会長

植野 由久

副会長

神野 和美

峰第二自治会

福祉協力員連絡会

副会長 齋藤 靖治

副会長

和田 典子

副会長

池田 映孝

会長 増淵 一男

会長 池崎 隆

副会長 野澤 俊彦

副会長

山田 典子

副会長

根本 昌夫

副会長 小野 純一

平松ひかりヶ丘自治会

副会長 仲田 紀子

副会長

植野 由久

副会長

池田 映孝

副会長 阿久津庄三

民生・児童委員協議会

副会長 寺内 貞夫

副会長

興野 憲史

副会長

池崎 隆

東峰中一自治会

防犯会

副会長 黒崎 浩代

副会長

笠原 英子

副会長

今井 政範

会長 堀江 武充

会長 井野 康資

副会長 野澤 俊彦

副会長

山田 典子

副会長

塩竈 修一

副会長 加藤 一男

副会長 鈴木 忠

副会長 伴 崇夫

副会長

齊藤 正行

副委員長

池崎 隆

副会長 宮澤 弘美

副会長 大橋 雅光

副会長 寺内 貞夫

副会長

興野 憲史

副委員長

池崎 隆

東峰中一自治会

防犯会

副会長 寺内 貞夫

副会長

黒崎 浩代

副会長

池崎 隆

会長 菊池 政吉

防犯会

副会長 黒崎 浩代

副会長

笠原 英子

副会長

今井 政範

副会長 吉田 弘

副会長 関口 忠司

副会長 黒崎 浩代

副会長

黒崎由利子

副会長

野澤 和一

副会長 吉田 弘

副会長 関口 忠司

副会長 黒崎 浩代

副会長

黒崎由利子

副会長

野澤 和一

副会長 吉田 弘

副会長 関口 忠司

副会長 黒崎 浩代

副会長

黒崎由利子

副会長

野澤 和一

副会長 吉田 弘

副会長 関口 忠司

副会長 黒崎 浩代

副会長

黒崎由利子

副会長

野澤 和一

副会長 吉田 弘

副会長 関口 忠司

副会長 黒崎 浩代

副会長

黒崎由利子

副会長

野澤 和一

新会長紹介

よろしくお願ひします



東峰中一自治会
菊池 政吉



東峰自治会
高橋 博



向原自治会
国谷 善一



峰小学校PTA
中田 道雄

退任会長

お世話になりました

- 東峰中一自治会 雫 琢也
- 東峰自治会 落合 利男
- 向原自治会 野澤 俊彦
- 峰小学校PTA 片山 昌彦
- 地域包括支援センター峰・泉が丘 伊東 紀枝

まちづくり推進協議会

議事録

(令和2年11月〜令和3年5月)

新型コロナウイルス感染防止の観点から大勢の方の集まる取り組みは中止し、まちづくり拡大役員会として自治会長会議と合同で毎月第3金曜日を基本に開催

主な取り組み

- 1 まちづくりビジョン検討会
スローガンを作成し、新年度より具体策検討
- 2 地域内交通検討委員会
地域内でのコースを設定し、現在市に検討依頼中
- 3 新しい情報ツール
。ホームページの開設(11月)
。LINE公式アカウント募集
- 4 コミセン・エレベーター工事
本年7月より来年3月末まで
- 7月22日(木)より8月中はコミセン休館となる
- 5 自治会組織の見直し
日曜日の開館検討中
自治会の構成、高齢化による世帯数の増減があり、引き続き継続できる体制作りの検討
- 6 令和3年度総会について
役員改選期ではあるが、コロナ感染症防止策として書面開催にて実施
- 7 行事・企画の再検討

これからのまちづくり

いつ何時、どんな事があっても時は進んでいきます。それは、全世界を恐怖に落とし入れている今も同じです。

人の生き方、考え方を大きく変えなければならぬ状況の中でも時を止めることはできません。

超高齢化時代の到来の中で、ゆるやかに世代交代を進めながら、新しいまちづくりに取り組んでいきます。それには、これまでの取り組みを土台に新しい方法を取り入れる「温故知新」の考えを基本に進めます。

皆さんの強力なバックアップをお願いいたします。

(会長 塩竈 修一)

峰地区世帯数

令和3年5月現在

自治会名	世帯数	峰だより(部)
峰 一	420	425
峰 二	92	100
峰 三	530	470
東峰中一	60	65
東 峰	73	80
向 原	440	450
峰 向 原	340	320
平 松 町	72	75
宇 大 南	210	215
平松ひかりヶ丘	249	270
合 計	2,486	2,470

各自治会からの届出数

表紙よりつづく 避難所開設訓練



ダンボールベッドとパーティションの組立

令和3年度 年間行事予定

4月	6日(火)	春の交通安全県民総ぐるみ運動(~15日)
	12日(月)	峰小入学式
5月	10日(月)	防犯会スクールガードサミット
6月	2日(水)	峰小運動会
	16日(水)	第11回峰地区まちづくりゴルフ懇親会
	19日(土)	避難所開設訓練
7月	11日(日)	第15回峰ふれあい夏祭り・盆踊り大会(中止)
	18日(日)	向原自治会夏祭り(中止)
	22日(木)	峰小夏休み(~8/25)
8月	22日(日)	第24回峰体協チャリティソフトボール大会(中止)
	"	サンク祭り2021
9月	5日(日)	第20回まちづくりふれあい旅行(中止)
	11日(土)	第14回峰老連グラウンドゴルフ大会
	12日(日)	敬老会(峰一)長寿を祝う会(峰向原) 敬老会(平松ひかりヶ丘)
	18日(土)	敬老祝賀会(峰三)
	20日(月)	敬老祝記念品贈呈(向原) 敬老者の集い(宇大南)
	21日(火)	秋の交通安全県民総ぐるみ運動(~30日)
	25日(土)	青少年育成会サイクリング&アウトドアクッキング
	26日(日)	第9回まちづくり輪投げ大会(中止)
10月	2日(土)	第8回まちづくりペタンク大会
	8日(金)	峰小終業式/秋休み(~13日)
	17日(日)	第59回峰地区体育祭(中止)
	23日(土)	第11回峰体協グラウンドゴルフ大会(中止)
	24日(日)	峰老連歩け歩け大会
11月	3日(水)	鶏峯神社秋季大祭
	"	峰二感謝祭
	13日(土)	峰文化祭(中止)
	14日(日)	峰向原自治会祭り
	21日(日)	東峰・東峰中一自治会祭り
	"	向原自治会祭り
12月	4日(土)	峰小土曜授業
	11日(土)	歳末交通安全県民総ぐるみ運動(~31日)
	25日(日)	峰小冬休み(~1/7)
1月	15日(土)	第18回峰地区新年会
	30日(日)	サンクウィンターカーニバル
2月	2日(水)	峰地区各団体合同研修旅行(~3日)
	6日(日)	第12回峰体協ボウリング大会
3月	6日(日)	第51回峰体協ソフトバレーボール大会
	18日(木)	峰小卒業式
	24日(木)	峰小修了式
	25日(金)	峰小春休み(~4/7)

シリーズ 高齢社会に暮らす②

補聴器



相談して補聴器をつけることにし

60代で左耳が「突発性難聴」になった。最近になり難聴度が進行し耳鳴りもひどくなった。MRI検査では異常なし。会話の聞き取り低下・音や声などの聴覚刺激が入らない・コミュニケーションが困難になる・社会との交流参加の減少等々。これでは認知症にと不安になり、病院と

た。お試し期間中(約2ヶ月)は無料で貸してくれる。装着してすぐ、音が洪水のように入ってくることにびっくり。耳は音を拾うだけで、聞いているのは脳。これが嫌と約2割の人が拒否とか。多少音の反響もある。しかしこのことに慣れるよりしかたがない。この期間に音量調整をしながら自分に合ったものにする。

コロナ禍の今、マスクで相手の口元が見えない。声がこもって聞き取りにくい。でも補聴器をつけることで音が聞き取りやすくなった。以前と全く同じという訳ではないが、少しは自分の耳に頼れるようになった。2年前に左膝は人工関節になった。年齢を重ねる毎にそこかしこに故障が出てくる。でもそれらと上手に付き合っって元気に楽しく暮らしたいと思う。

(U・Y)

コミセン貸館の休止

7月20日(火)~9月15日(水)エレベーター設置工事のため貸館を休止いたします。

編集後記

一度も休まず発刊してきた「峰だより」は、令和3年1月13日(水)県内に緊急事態宣言が出されたため、3月号は休止せざるを得なくなり、新年度の発行となりました。令和3年度、各団体は委任状による書面総会を実施、議事は全会一致で可決され、未来の峰に向けて動き出しました。

皆さんと集い、笑い合える日々が待たれます。(編集子)

峰だより編集委員

- 木村真理子 (峰 二)
- 田中 一成 (峰 二)
- 笠原 英子 (峰 三)
- 齋藤紅美子 (向 原)
- 薄井八重子 (峰 原)
- 坂本恵美子 (平 町)
- 藤重 宣昭 (宇 南)
- 山王堂ヒサ (平松ひかりヶ丘)